

北陸地方整備局での道路事業の進め方改革

～北陸の気候や年度末繁忙期の業務・工事集中削減に向け「年度」から「年」へ～

北陸地方整備局の道路事業では、北陸特有の気候である冬期降雪下における施工や、年度末の繁忙期における業務や工事の集中を避けるため、事業の進め方の改革を進めてまいります。

この取り組みの第一歩として、以下の5事業において、工程を精査し、開通時期等の表現を「年度」から「年」に見直します。

① 国道470号 ^{わじま} 輪島道路（石川県）

開通時期を【2022年夏迄開通予定】にて公表済み

② 国道359号 ^{となみひがし} 砺波東バイパス（富山県）

工程を精査し、開通時期を「年度」⇒「年」に改めます

2019年度開通予定 ⇒ 【2019年内開通予定】

③ 国道49号 ^{すいばら} 水原バイパス（新潟県）

軟弱地盤対策工に時間を要することが判明したため、工程を精査し、開通時期を見直します

2021年度開通予定 ⇒ 【2022年夏迄開通予定】

④ 国道41号 ^{おおさわのとやまみなみ} 大沢野富山南道路（富山県）

2019年内に工事に着手する予定です

⑤ 国道17号 ^{うらさ} 浦佐バイパス（新潟県）

2019年内に（仮称）^{しんうらさ}新浦佐大橋下部工整備に向けた施工ヤード整備に着手する予定です ※下部本体工は施工ヤード整備後に降雪期、年度末工事集中削減を踏まえ着手予定

この他、用地買収が進捗した事業の、“今後の事業の見通し”についてもお知らせしてまいります。

○ 国道7号 ^{あさひあつみ} 朝日温海道路（新潟県）

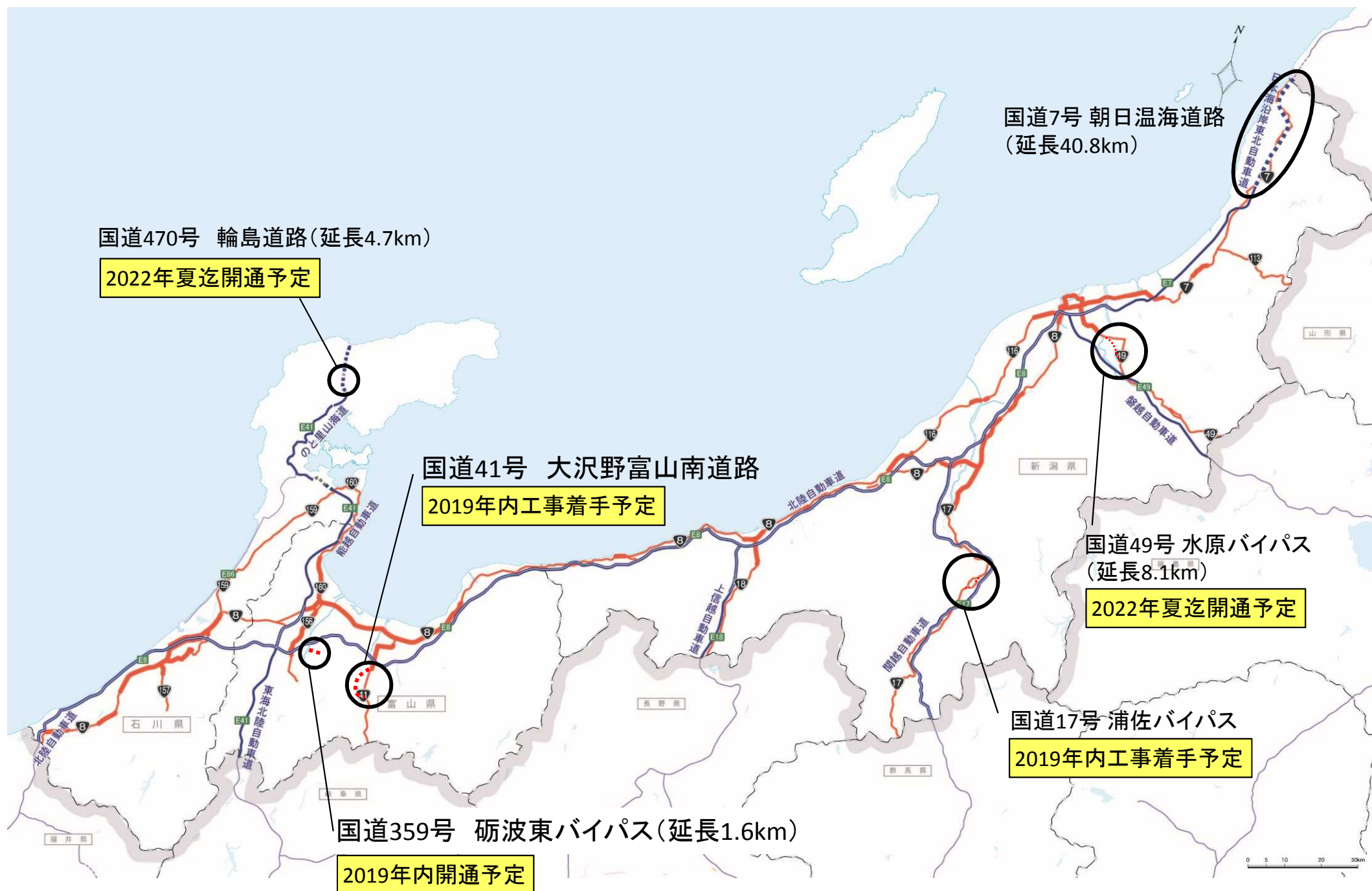
別紙2のとおり今後の事業の見通しについて詳細にお知らせします

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課長 ^{かんだ} 神田 ^{しんたろう} 真太郎
TEL：025-280-8880（代表） FAX：025-370-6741

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、富山県政記者クラブ、石川県政記者クラブ、その他・専門紙



○2019年度実施内容：用地買収、改良工事、橋梁上下部工、トンネル工

○開通に直接影響するトンネルの進捗状況・今後の見込み

- 着手済みトンネル：(仮称)1号トンネル 約600m/1,007m掘削 (H31年3月末時点)
- 2019年度着手予定：(仮称)4号トンネル、(仮称)11号トンネル
- 今後の見通し：
 - ・トンネルの施工は、複数のトンネルを同時に掘削していく計画です。
 - ・今年度着手する(仮称)4号トンネル、及び連続する(仮称)3号トンネルは、間に搬入路がないことから、順に工事を進める計画です。これらの連続するトンネルは開通に向けた事業工程に直接影響する構造物です。
 - ・なお、(仮称)4号トンネルと(仮称)3号トンネルの完成には、概ね10年程度※1の期間を要する見込みであり、これらトンネルの進捗により開通への目途が立つ見込み※2です。

※1：同規模のトンネル工事の過去の実績を踏まえ、(仮称)3号トンネル、4号トンネルともに概ね5年程度の期間を要する見込みですが、地質の状況や予算の状況により変更となる場合があります

※2：現時点での計画であり、用地買収及び工事進捗状況等により変わる場合があります

